

平成 2 1 年度事業報告

1. 事業の概況

(1) 研究者育成奨学金支給

2名の公募に対し応募が2名あり、審査の結果2名を採択した。
(400,000円)

(2) 国際研究集会補助

インフルエンザ等の関係で応募はありませんでした。

(3) 学術図書刊行助成

京都大学東南アジア研究所発行学術季刊誌「東南アジア研究」46巻4～47巻3号の刊行助成(203,361円)。

(4) APIフェローシップ運営

平成21年度は第9期フェローをインドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンの各国より計14名受け入れた。

第8期日本、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンの各国フェローの参加により、API国際ワークショップを平成21年11月23日より27日まで大阪国際会議場にて開催した。

また、第10期フェローの募集を行い、平成21年10月17日には国内選考会を東京において開催し、日本からは4名のフェローが選考された。

さらに平成22年2月27日・28日にはコープイン京都にてオリエンテーション及び国内ワークショップを開催した。各フェローの活動国は、インドネシア、マレーシア、フィリピン及びタイの予定である。

(18,581,554円)

2. 庶務の概要

(1) 平成21年5月29日 第53回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成20年度事業報告及び収支計算書、財団法人アジア研究協会における最初の評議員の選任方法について審議のうえ、原案どおり承認した。また、今後の財団運営について種々の意見交換があった。

(2) 平成21年7月22日 常務理事会を開催し、当財団の新公益法人制度における移行形態について、「最初の評議員選考委員会の外部委員の選任について」「公益目的事業について」「機関構成について」検討された。また、創立35周年記念事業の実施方法等についても検討された。

(3) 平成22年3月3日 第54回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成21年度事業計画及び収支予算書並びに新公益法人制度における移行形態等について審議のうえ、原案どおり承認した。

(4) 平成22年3月19日 アジア研究協会35周年記念講演会を東京国際文化会館 岩崎小彌太記念ホールで3名の講師を招いて開催した。また講演会終了後記念祝賀会を催した。